

鋳工業

鋳工業生産の動き

平成23年の鋳工業生産指数の年平均は98.3（平成17年=100）で、対前年比4.2%の減少となりました。

これを業種別に対前年比で見ますと、一般機械工業29.2%、電力・ガス事業22.2%、非鉄金属工業18.9%、金属製品工業14.8%、石油・石炭製品工業11.4%、その他製品工業8.0%、家具工業5.9%、鉄鋼業5.8%、食料品工業4.4%、パルプ・紙・紙加工品工業2.9%、電気機械工業1.4%、とそれぞれ上昇しました。一方、窯業・土石製品工業△0.2%、プラスチック製品工業△3.1%、ゴム製品工業△4.4%、繊維工業△4.6%、木材・木製品工業△4.8%、化学工業△5.6%、電子部品・デバイス工業△10.6%、鋳業△16.3%、輸送機械工業△17.8%、情報通信機械工業△44.9%、とそれぞれ低下しました。

図22 鋳工業生産者製品在庫指数

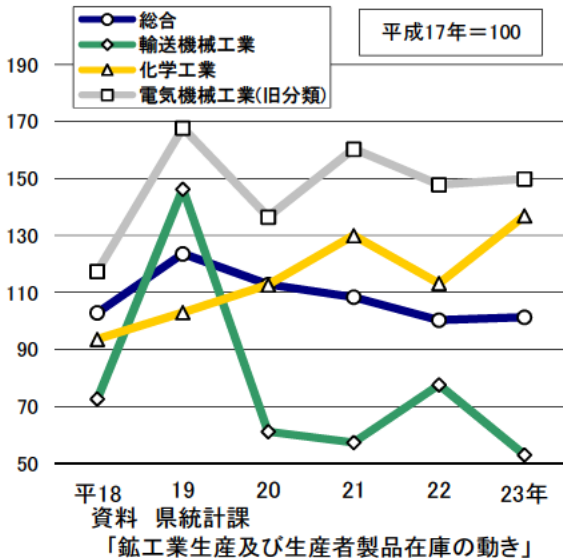
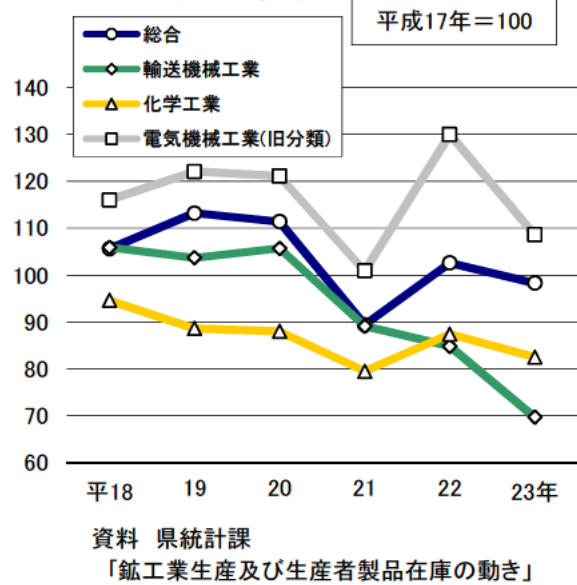


図21 鋳工業生産指数



また、平成23年鋳工業生産者製品在庫指数の年平均は101.3（平成17年=100）で、対前年比1.0%の増加となりました。

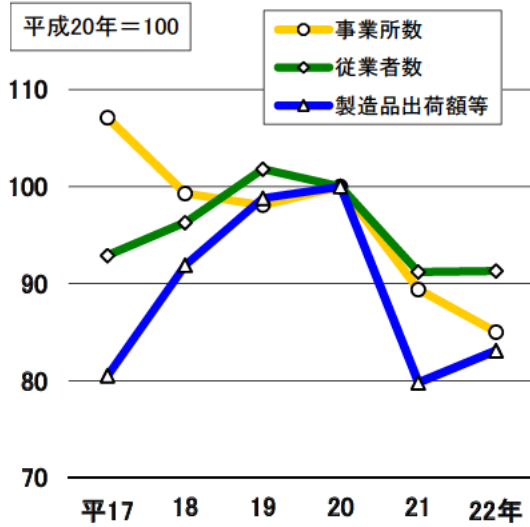
これを業種別に対前年比で見ますと、家具工業38.2%、化学工業20.9%、繊維工業16.6%、食料品工業16.3%、ゴム製品工業14.2%、金属製品工業5.7%、パルプ・紙・紙加工品工業4.9%、鋳業3.2%、石油・石炭製品工業3.0%、窯業・土石製品工業2.9%、一般機械工業2.3%、プラスチック製品工業1.8%、電気機械工業（旧分類）1.4%、とそれぞれ上昇しました。一方、木材・木製品工業△2.4%、非鉄金属工業△2.9%、鉄鋼業△12.8%、その他製品工業△14.0%、輸送機械工業△31.6%、とそれぞれ低下しました。

平成22年工業統計調査結果

(1) 概況

平成22年12月31日現在の事業所数は3,983事業所、従業者数は19万185人、製造品出荷額等は9兆7,647億円となっています。前年と比べると、事業所数は205事業所（4.9%）減少、従業者数171人（0.1%）増加、製造品出荷額等は3,901億円（4.2%）増加しました。

図23 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



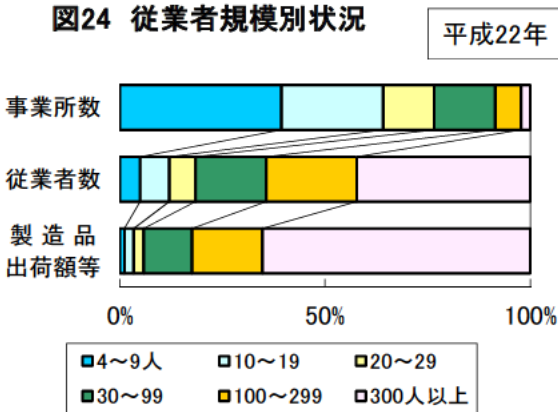
資料 県統計課「三重の工業」

(2) 従業者規模別にみた工業のすがた

平成22年の事業所数、従業者数、製造品出荷額等を従業者規模別でみると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4~9人の小規模事業所が構成比で全体の39.4% (1,568事業所) を占めていますが、従業者数では全体の5.0% (9,529人)、製造品出荷額等では同1.1% (1,045億4,146万円) を占めているにすぎません。

これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で2.2% (89事業所) ですが、従業者数では全体の42.3% (8万493人)、製造品出荷額等では同65.3% (6兆3,785億672万円) を占めています。

図24 従業者規模別状況



資料 県統計課「三重の工業」

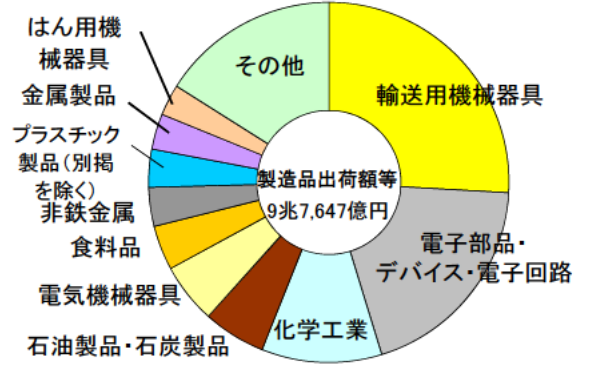
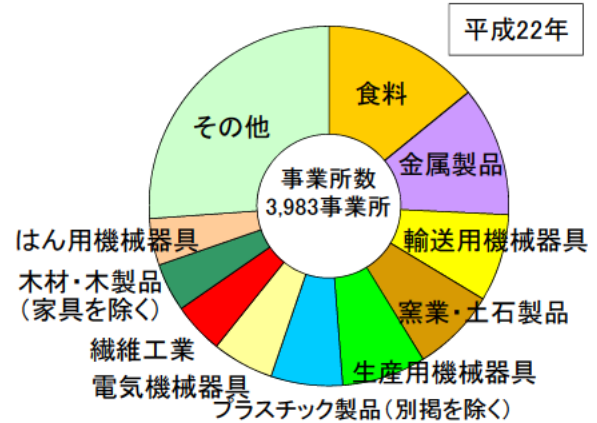
(3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では食料品製造業の占める割合が14.1% (562事業所) で最も高く、次いで金属製品製造業が11.6% (464事業所)、輸送用機械器具製造業が7.9% (314事業所) などとなっています。

従業者数では、輸送用機械器具製造業20.1% (3万8,261人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業10.5% (1万9,931人)、食料品製造業9.0% (1万7,078人) などとなっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が25.9% (2兆5,288億円) と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が19.3% (1兆8,865億円)、化学工業10.8% (1兆505億円) などとなっています。

図25 業種別事業所数・製造品出荷額等



資料 県統計課「三重の工業」